

平成23年度 福井型コミュニティ・スクール推進事業実施報告書

「地域の息吹を生徒の未来へ」

大野市尚徳中学校

1 取り組みの概要

(1) 地域や家庭と学校の連携実績

項目	回数
地域・学校協議会	3回
中学校区を単位とした協議会	0回
地域及び家庭への学校公開	7回(のべ) 9日

(2) 地域人材の活用(のべ人数)

講師・ゲストティーチャー	6人
授業ボランティア(含:低ボラ)	0人
登下校支援ボランティア	0人
その他()	人

(3) 特色ある活動

テーマ「ふるさと教育」

具体的活動内容

中学生も地域の一員であるという考えのもとに、毎年、地区体育大会に選手として競技補助員として参加したり、地区夏祭りや地区敬老会に参加したり、地区の福祉施設を訪問して心の交流を図ったりしている。

そして、尚徳中学校区内の小学生と中学生、地域の方々が一緒になって地区ごとに「ふるさと生き生き作戦」を実施している。この活動は、もともと「クリーンアップ作戦」として始まり、各地区で夏季休業中に美化作業を行ってきた。

この活動をさらに意義あるものにしていこうと、地区ごとに児童・生徒達とPTA地区委員が話し合い、いつ、どのような活動するのかを計画して活動している。今年度は、34地区で以下のような活動を行った。なお、複数の活動を行った地区もある。

地区内の美化作業	26地区
地区の花壇づくり	7地区
地区バーベキュー大会の準備	3地区
地区祭りの運営	3地区
花火大会	1地区

また、これまで活動時期は5月～8月と設定してきたが、今年度は、活動時期が4月～9月と広げたことで、いろいろな活動ができた。



成果と課題

(1) 成果について

「ふるさと生き生き作戦」は、地域の方と生徒が話し合っ活動内容を考えていることに大きな意義があり、年々定着してきている。そのため、活動内容が広がってきているし、小学生、中学生とも参加率が高い。

(2) 課題および次年度に向けて

活動計画を立てる際、日程の調整で地区委員の方々が苦勞されている。次年度は、地域、地域スポーツ団体、学校が活動の主旨を確認し、スムーズに活動できるようさらに連携を深めていく必要がある。